

2021 年度 環境活動レポート



2022 年 3 月 31 日

木々に永遠の生命をあたえたい…東京ボードグループ

ティー・ビー・ロジスティックス株式会社

(実施期間 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

エコアクション 21 環境活動レポート

ページ

1. 会社概要	2-5
① 会社概要	
② 組織図	
③ 産業廃棄物収集運搬業許可一覧	
2. 環境方針	6
3. 中期環境目標、達成度と評価	7
4. 活動計画表	8
5. 環境関連法規等及び遵守状況	9
6. 社長による見直し結果	10

会社概要 1

1. 登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社
代表取締役社長 相川 和政

(2) 所在地

本社 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 100 番地
営業本部 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 331-1
第一車庫 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 329-1,330-1
第二車庫(無人)草加都市計画事業八潮南部西一体型特定区画整理事業
21 街区 14 画地 15 画地 16 画地
第三車庫(無人)草加都市計画事業八潮南部西一体型特定区画整理事業
48 街区 4 画地 5 画地 6 画地
横浜営業所 〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 1-3-4
新木場営業所 〒136-0082 東京都江東区新木場 2-12-5
車庫 東京都江東区新木場 2-11-1
千葉営業所 〒285-0074 千葉県佐倉市西御門 653-16

URL: <http://www.t-b-l.co.jp/>

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 佐治 孝
事務局 中村 優香
連絡先 電話:048-994-1311 FAX:048-994-1315

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

産業廃棄物における収集運搬及び一般貨物運送事業

①本社 ②営業本部・第一車庫 ③第二車庫(無人) ④第三車庫(無人)
⑤横浜営業所 ⑥新木場営業所 ⑦千葉営業所

(5) 事業の規模

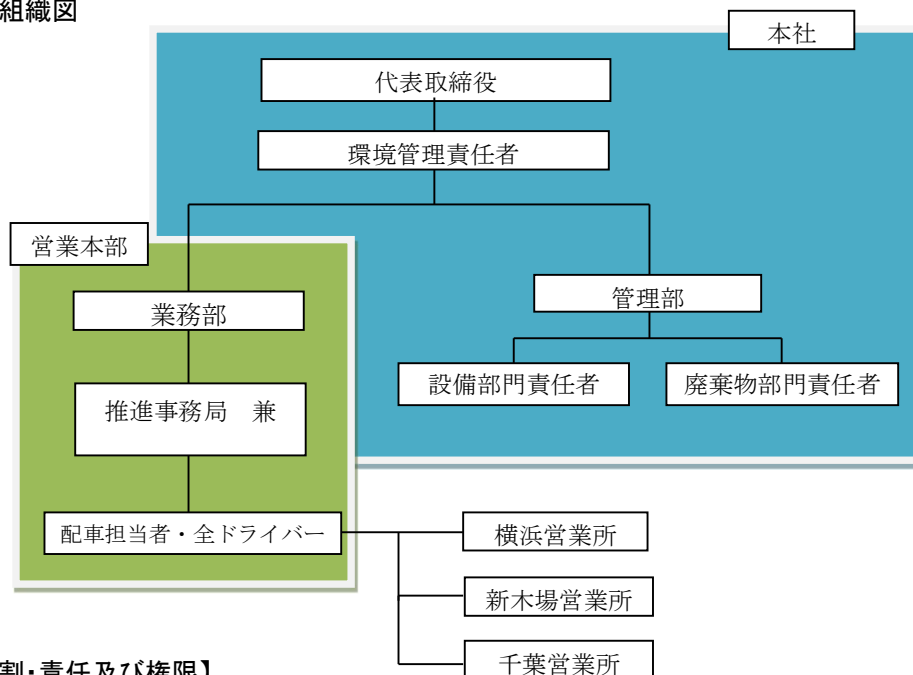
処理量(受託した 廃棄物量)	38,088t(総収集運搬量)
売上高	1,535 百万円(2022 年 3 月)
従業員	83 名(2022 年 3 月現在)

(6) 法人設立年月日 平成 9 年 4 月 4 日

(7) 資本金 1,200 万円

会社概要 2

(8) 組織図



【役割・責任及び権限】

代表取締役 相川 和政（環境方針の設定とEA21全体の見直し）
 環境管理責任者 佐治 孝（環境関連法規制の順守評価を含むEA21実施責任者）
 CO2部門責任者 中村 優香（CO2・排水量の削減）
 推進事務局兼廃棄物部門責任者 高石 守（廃棄物量削減）
 推進事務局兼設備部門責任者 中村 優香（設備部門責任者・CO2・排水量・グリーン購入の推進）
 運行管理者 本社:高石守・白鳥隼 新木場:羽鳥良平 横浜:大山達也 佐倉:小松敏哉
 ※ECOドライブ推進者:高石守
 整備管理者 本社:数井克行 新木場:羽鳥良平 横浜:大山達也 佐倉:小松敏哉
 従業員（ドライバー含む） 83名（環境方針の徹底と省燃費運転の推進） 2022.3月現在

(9) 施設等の状況(収集運搬関係)

運搬車両

用途	車種	台数	登録
収集運搬車両	大型コンテナ車	1	産廃
〃	チップ車	9	〃
〃	15tウイング車	6	〃
〃	15tウイングチップ車	8	〃
〃	8t平車	4	〃
〃	10tユニック車	1	〃
〃	7tユニック車	8	〃
〃	4tユニック車	3	〃
〃	3tユニック車	1	〃
〃	4t平車	4	〃
〃	2.95t平車	2	〃
〃	4tアームロール車	10	〃
〃	4tダンプ車	7	〃
〃	3tダンプ車	1	〃
〃	2tダンプ車	1	〃
	車両保有数合計	66	

(10) 廃棄物処理料金

運搬料金につきましては、車両形状、地域により計算致します。
 なお、無料にてお見積り致しますので下記担当までにご連絡下さい。
 管理部 担当 佐治 孝 電話:048-994-1311 ファックス:048-994-1315

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

〒340-0835 埼玉県八潮市大字浮塚100番地

ティーピーロジスティックス株式会社

産業廃棄物収集運搬業許可						許可番号							新規許可取得年月日	更新許可取得年月日	有効期限年月日	
都道府県及び 法令都市	積替え保管	廃油 (揮発油類、灯油類、軽油類)	廃酸 (pH2.0以下)	廃アルカリ (pH12.5以上)	特定有害産業廃棄物							収集運搬 許可番号	新規取得年月日	更新許可取得年月日	有効期限年月日	
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん					
1 東京都	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第13-50-053819号	平成29年12月15日	平成29年12月15日	令和4年12月14日
2 千葉県	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	01250053819号	平成29年12月19日	平成29年12月19日	令和4年12月18日
3 神奈川県	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	01450053819号	平成29年12月20日	平成29年12月20日	令和4年12月19日
4 埼玉県	無	●	●	●									01150053819号	平成30年12月19日	平成30年12月19日	令和5年12月18日

2. 環境方針

環 境 方 針

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社は、木質廃棄物を原料とした、パーティクルボード等のマテリアル建材を生産している東京ボード工業株式会社のロジスティクス部門としてスタートしました。

産業廃棄物(木質廃棄物)の回収とパーティクルボード等の配送で多くの車両を運行している当社は、「安全第一」による運行管理を徹底し、急速に変化する市場環境に即応し、整合性、合理性を備えた静脈物流を強化して、環境の保全と継承を支える物流企業として、社会貢献に努めます。

<行 動 指 針>

1. 産業廃棄物収集運搬事業及び一般貨物運送事業に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。

- ① 運搬における二酸化炭素排出量の削減
- ② 事務所、車庫における設備等の電力使用量の削減
- ③ 事務所設備等における水使用量の削減
- ④ 事務作業等から排出する廃棄物の削減
- ⑤ グリーン購入の促進

2. 交通事故及び車両不整備による緊急事態の撲滅による安全経営を目指します。

3. 設定した環境目的、目標達成に向けてDTSの運用を最大限に利用し、EA21プロジェクトによる全体の評価と定期的な見直しを行い継続的改善に取り組みます。

4. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守します。

5. 環境保全関連の行政機関、団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動を行ないます。

6. 環境教育、訓練の実施によりすべての社員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。

7. 環境方針は公開します。

2020年4月1日

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社

代表取締役社長 相川 和政

3.中期環境目標、達成度と評価

目標項目		当年度							
		2019年度 基準年度	単位	2020年度 目標値	2020年度 実績値、評価	2021年度 目標値	2021年度 実績値、評価	2022年度 目標値	
安全	交通事故撲滅	3	件	0	5	0	3	0	
		-	増減件数	0	×	+5	0	×	+3
CO ₂ 削減	CO ₂ 排出量	2,426,606	kg-CO ₂	2,426,464	2,311,559	2,397,486	2,267,601	2,390,207	
	削減	-	増減率	0.0%	○	95.3%	-1.2%	○	93.4%
	軽油燃費向上	3.68	km/L	3.69	3.68	3.70	3.78	3.75	
	削減	-	増減率	+0.3%	○	99.7%	+0.6%	○	102.1%
	軽油使用量	928,007	L	928,007	883,768	916,871	867,695	914,087	
	削減	-	増減率	0.0%	○	95.2%	-1.2%	○	94.6%
	ガソリン使用量削減	6,061	L	6,000	5,452	5,988	4,055	5,970	
	削減	-	増減率	0.0%	○	90.90%	-1.2%	○	67.70%
資源有効利用	電力使用量	41,465	kWh	41,050	42,606	40,967	44,309	4,084	
	削減	-	増減率	-1.0%	×	103.80%	-1.2%	×	108.10%
	廃棄物排出量削減	1,450	kg	1,428	3,120	1,428	2,136	1,428	
	削減	-	増減率	-1.5%	×	218.50%	-1.5%	×	149.60%
	水使用量削減	102	m ³	監視水準25m ³ /2か月					
	コピー用紙使用量削減	386	kg	381	306	381	240	380	
	削減	-	増減率	-1.2%	○	80.30%	-1.4%	○	63.00%
	グリーン購入	25%	%	監視水準25%					
環境責任者によるコメント(確認、評価)									
<p>車両バック事故が3件発生した。前年度はバック事故5件で2件減少したが、事故再発防止策の有効が見られない。事故発生場所がいずれも工場敷地内で発生している。これは慣れた場所・作業での怠慢が原因と考えます。次年度は無事故達成できるように運行管理者はもう一度ドライバーヒアリングを行い、無事故達成できるように再教育すること。</p> <p>電力量については前年度比1,703kWh増加。これは前年度、コロナ禍による感染防止対策としてリモートワークを推奨して行っていたが、まん延防止解除後に出勤に切り替えたことによるものと考えます。</p> <p>廃棄物排出量については、前年度よりは984kg減少しているが目標値よりは708kg増加している。来期は不要なゴミは極力出さないよう社員1人1人が意識する行動が必要になっていくため再教育すること。</p>									

評価：○達成、△90%達成、×未達成

※当年度の増減率欄は達成率と評価を示す。

※電力のCO₂排出係数は東京電力エナジーパートナー2019年度調整後排出係数0.441kg-CO₂

※基準値として3年間使用

4.2021年度環境活動計画表

予定：○、実施済：●、未実施：×

目標項目	達成手段	実施スケジュール					
		4.5月	6.7月	8.9月	10.11月	12.1月	2.3月
交通事故撲滅	交通安全教育の実施	●			●		
	交通事故原因の調査						
	ドラレコの有効活用		●			●	
	KYT教育の実施(交通安全、緊急事態)		●				
	安全大会の開催					×	
緊急事故撲滅	緊急事態対応訓練					●	
	定期車両整備	●	●	●	●	●	●
軽油使用量削減 ガソリン使用量削減	アイドリングストップ	●	●	●	●	●	●
	新入社員エコドライブの教育	●					
	動脈物流と静脈物流の一体化	●	●	●	●	●	●
	低燃費車の導入		●	●	●		●
	正確なDTSによる燃費管理の徹底	●	●	●	●	●	●
電気使用量削減	クールビズ・ウォームビズの継続	●	●	●	●	●	●
	エアコン設定温度の管理		●	●		●	●
	リモートワークの推進	●	●	●	●	●	●
廃棄物排出量削減	段ボールのリサイクル化	●	●	●	●	●	●
	紙の分別・リサイクル化	●	●	●	●	●	●
	木くず収集運搬量データ管理	●	●	●	●	●	●
水使用量削減	車両洗浄の管理	●	●	●	●	●	●
	漏水の監視	●	●	●	●	●	●
コピー用紙使用量削減	両面コピー	●	●	●	●	●	●
	裏紙の活用	●	●	●	●	●	●
	iPADの活用	●	●	●	●	●	●
G購入推進	事務用品のG購入 (コピー用紙、トイレットペーパー、ファイル、)	●	●	●	●	●	●
その他の活動	定期的な地域清掃(アースデー)	×		×			
	EA21審査	×			●		

※2021年度未実施：×に関しまして、コロナウイルス感染症まん延の為、中止又は延期となりました。

5. 環境関連法規等及び遵守状況作成日

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通り

作成日：2021/4/2

遵守評価日：2022/4/11

主な適用法規		当社の対応	確認	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	14条	・都道府県知事による収集運搬業の許可	遵守確認済(台帳にて管理)	○
	14条	・排出事業者又は処分業者との書面による委託契約の締結、確認及び保管(5年間)		○
	14条	・委託業者との契約、許可証明書の確認及び保管		○
	14条	・委託契約書記載内容の確認		○
	12条の3	・マニフェストの適正な記載・交付・戻り状況の確認及び保管 ・報告の義務		○
家電リサイクル法	6条	・引渡し ・費用支払	今年度は廃棄なし	○
貨物自動車運送事業法	18条	・運行管理者の選任・届出	高石選任 届出済 管理手帳(2年ごと講習)	○
	50・52条	・整備管理者の選任・届出	数井選任 届出済 管理手帳(2年ごと講習)	○
道路運送車両法	47・48条	・社有車両の3ヶ月点検及び日常管理	車両一覧表にて管理	○
自動車NOxPM法	12条	・NOxPM排出基準適合車両の使用	車検証にて管理	○
フロン排出抑制法	16条	・管理者判断の順守・該当機種有無	四半期毎に点検	○
	41条	・フロン類引き渡し業務	空調の引き渡しなし	○
	43条	・回収依頼書/委託確認書の交付・保存		○
	45条	・引取証明書の保存 3年間		○
労働安全衛生法	11-12条	・安全管理者・衛生管理者の選任・届出	羽鳥選任・届出済	○
	19条	・安全衛生委員会の設置・開催・記録	開催、議事録有	○
	66条	・定期的な健康診断の実施	各自年1回 常時スケジュール通り実施	○
PCB廃棄物の処理作業等における安全対策要綱	第3	・特定化学物質等作業主任者の選任	受注以降、遵守状況を確認する。	○
	第4	・安全教育		○
	第6	・保護具		○
埼玉県生活環境保全条例	40-41条	・アイドリング・ストップの推進	事務所内推進文書掲示	○
	36条	・行政報告 30台以上	車庫内推進ポスター掲示済	○
	31条	・PM規制(PM減少装置、又は認定形式)	全台装置あり	○
埼玉県地球温暖化対策推進条例	30条	・自動車地球温暖化対策計画の提出	埼玉県ホームページで公表	○

当年度には法規違反と訴訟はありませんでした。

遵守状態：○ 準備中・対応中：△ 不適：×

※本記録は、3年間保存後、シュレッダーで破棄処分

6.社長による見直し結果

(1) 全体の確認・評価

事項	報告内容（要旨）	代表者の評価
環境経営目標の達成状況	<p>●CO2排出量削減●軽油燃費向上●軽油使用量●ガソリン使用量●コピー用紙使用量削減の5項目については目標値を達成。</p> <p>●電力使用量●廃棄物排出量削減の2項目については目標値未達であった。</p>	<p>軽油使用量について前年度より売上増になっているが、削減出来ている。これは効果的な車両の代替え、効率的な運行計画を行ったため環境負荷に繋がったと評価できる。</p> <p>電力使用量については目標値の見直しを含め検討してください。</p>
環境経営計画の実施	<p>計画通り実施出来たが目標値未達があった。</p> <p>環境経営計画（達成手段）の見直しを進め次年度は再度計画を立てなおします。</p>	<p>目標達成のための手段を練り直し、再度環境経営計画の構築をしてください。</p>
安全経営	<p>年間を通して3件のバック事故が発生した。前年度同様の構内におけるバック事故だった。再発防止策が有効ではないと考え、再度ドライバーも含め事故分析を行い再発防止策を練り直し再教育いたします。</p>	<p>慣れた場所での怠慢作業からくる事故です。有効な再発防止策を考え教育すること。次年度は無事故・無災害が達成出来るように、運行管理者・整備管理者が中心になって安全教育、車両管理に取り組んでください。</p>
環境関連法規などの遵守状況	<p>当年度には法規違反及び訴訟等はありませんでした。</p>	<p>法改正には常にアンテナを張って情報収集すること。引き続き法令順守の徹底を図ってください。</p>

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性、並びに指示事項

指示事項	要否	変更が必要な場合の指示事項等	回答者	回答日
環境方針の変更	否		—	—
環境目標	要	電力量については今後1年間の動きを見て目標値の見直しを行う。	管理責任者	2022.4.18
環境計画及び活動	要	環境経営計画（達成手段）の見直しを行い、次年度に組み込む。	管理責任者	2022.4.18
安全経営	要	運行管理者・整備管理者を中心に有効な事故再発防止策を検証し再教育する。	管理責任者	2022.4.18
実施体制	否		—	—